

〔イマズスルフロン・ダイムロン・  
メフェナセット粒剤〕

農林水産省登録 第18586号

性状：類白色細粒

毒性：普通物

危険物：—

有効年限：5年

包装：3kg×8

# バ ト ル® 粒 剤

有効成分：イマズスルフロン …………… 0.30%    ダイムロン …………… 5.0%  
メフェナセット(PRTR・1種)……3.5%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧いただけます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

## 〔適用と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	適用土壌	10アール 当り 使用量	総使用回数*	適用地帯	使用方法
移植 水 稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道、東北) ヒルムシロ オモダカ (北海道を除く) クログワイ (北海道を除く) セリ (九州を除く) アオミドロ・藻類 による表層はく離 (北陸を除く) コウキヤガラ	移植後10日 ～ノビエ 2.5葉期、 ただし移植 後30日まで	砂壤土 ～埴土	3kg	本 剤：1回 イマズスルフロン：2回 ダイムロン：3回 (育苗箱散布は1回、 本田では2回) メフェナセット：2回	北海道	湛水散布
	移植後5日 ～ノビエ 2.5葉期、 ただし移植 後30日まで	全域(北海道を 除く)の普通期 及び早期栽培 地帯					



## 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 主要雑草に対する散布適期幅

ホタルイ	2葉期まで	オモダカ	発生盛期まで
ウリカワ	2葉期まで	コウキヤガラ	発生盛期まで
ミズガヤツリ	2葉期まで	セリ	再生前～再生始期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで	アオミドロ・藻類による 表層はく離(北陸を除く)	発生前まで
ヒルムシロ	発生期まで		
クログワイ	発生期まで		

○本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。田植え前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用することが望ましい。オモダカ、クログワイ、コウキヤガラに対しては所定の使用時期の範囲でなるべく遅く散布する。オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもまで十分な効果を示さない所以需要に応じて有効な後処理剤と組合せて使用する。

- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化作業及び植付けはていねいに行う。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行う。
- 散布に当っては、水の出入を止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさける。
  - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
  - 軟弱な苗を移植した水田。
  - 極端な浅植の水田。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさける。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いない。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意

- 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。(刺激性)
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。  
12頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－Eも合わせてお読み下さい。

## 〔品目特性〕

- イマズスルフロンに、カヤツリグサ科雑草、特にホタルイに安定した高い効果を示すダイムロンと生育の進んだノビエに対しても高い効果を示すメフェナセットを混合した水稲用除草剤です。
- 水稲に対する影響が少なく、各種一年生および多年生雑草に安定した優れた効果を示す初・中期一発処理除草剤です。
- 広範囲の雑草を同時に防除できる水田の総合除草剤です。  
適地においては本剤を1回処理するだけで全期間の除草が可能です。
- 除草効果が高い  
ノビエをはじめとする各種水田一年生雑草から、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ等の多年生雑草まで幅広い草種に極めて高い効果を示します。また、クログワイ、オモダカ等の難防除雑草や、アオミドロ・藻類による表層はく離にも効果があります。
- 処理適期幅が広い  
田植後5日から(北海道は田植後10日から)ノビエの2.5葉期まで、いずれの時期の使用でも高い効果が得られます。
- 残効期間が長い  
バトル粒剤の残効期間は長く、薬剤処理後雑草の発生を40～50日抑制します。